

不動態パパイン（アガロース樹脂）

Cat. No. NATE-1864

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明

不動態パパインは、さまざまなIgG種からFabおよびFcフラグメントを生成するのに便利です。パパインは、活性部位にチオール基を持つ非特異的なチオールエンドペプチダーゼであり、活性のためには還元型でなければなりません。IgG分子がシステインの存在下でパパインとインキュベートされると、ヒンジ領域の1つ以上のペプチド結合が切断され、2つのFabフラグメントと1つのFcフラグメントという、同サイズの3つのフラグメントが生成されます。Fcフラグメントは、不動態プロテインAを使用するか、イオン交換クロマトグラフィーによってFabフラグメントから分離できます。50,000DaのFcフラグメントは、抗原結合の干渉なしにFc受容体の特異性を決定するためによく使用されます。免疫グロブリン分子とFc受容体の相互作用は、細胞の生理を調節するのに役立ち、Fc受容体機能の阻害は特定の疾患の発症や進行を引き起こす可能性があります。Fc受容体と免疫グロブリンの相互作用を追跡することで、細胞表面認識の媒介と活性化の現象を研究することができます。Fabフラグメントは、フラグメントが完全なIgGよりも組織に浸透するため、免疫組織化学的研究において有用です。また、免疫グロブリンのFab部分のみを使用することで、Fc受容体からの非特異的結合を回避できます。不動態パパインを使用することで、最終製品に酵素の汚染を伴わずにフラグメントを生成できます。不動態は、熱不安定性や自己分解に阻害する酵素の安定性を高め、活性の維持を長くします。切断は、消化時間やカラムを通過する流量によって調整できます。不動態パパインは、希薄な小体積のタンパク質に阻害して効果的で、再現性のある消化物を生成します。

別名 不動態パパイン

製品情報

形態	50% スラリー（総容量10mL）を50% グリセロール、0.1M 酢酸ナトリウム、pH 4.4で、0.05% ナトリウムアジ化物を含む。
EC番号	EC 3.4.22.2
活性	パパインのミリグラムあたり16-40 BAEE単位の不活化前。
濃度	250μg パパイン/mLの沈殿したゲル

保管・発送情報

保存方法 受領後は4°Cで保管してください。製品は常温で出荷されます。